

ひょうご

子ども未来通信11月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



子育て応援ネット全県大会(10/22)

子どもの見守り・SOSキャッチ活動の取組強化へ

県地域女性団体ネットワーク会議と県等による子育て応援ネット全県大会が県公館で開催され、子育て家庭応援推進員等450名が参加しました。

養父市子育て支援協力隊の山崎会長からは、乳児健診時の赤ちゃんの一時預かりの実施などの取組事例が発表されたほか、吉田県児童養護連絡協議会長の報告、岩佐嘉彦弁護士による基調講演が行われました。

大会の途中、井戸知事も駆けつけ、「今後とも地域ぐるみでの子育て支援にご尽力を」と感謝とエールを送りました。



(問) 県少子対策課 078-362-4185



ひょうご仕事と生活センター1周年記念フォーラム(10/5) 政労使女性三者会議を立ち上げ

同センターは、ワンストップ相談(1032件)や相談員派遣(677件)、研修の企画・実施(131件)(いずれもH21実績及びH22.9月末までの件数)など、企業の仕事と生活の調和に向けた取組支援を行っています。

フォーラムでは、井戸知事、森本連合兵庫会長、寺崎県経営者協会会長、北条センター長による座談会や(株)夢工房の田中社長による講演が行われました。



また、今回の1周年記念フォーラムにあわせ、清原県理事、永井連合兵庫女性委員会委員長、有光県経営者協会副会長出席のもと、「政労使女性三者会議」を立ち上げました。

今後は三者が協働し、働く女性の仕事と生活の調和に向けた取組を積極的に進めていくこととしています。



兵庫県保育大会を開催(10/23)

(社)兵庫県保育協会と県等は、地域の子育て家庭に対する支援や保育の資質向上を目的とする同大会を洲本市内で開催し、保育関係者や子育て中の保護者ら約700人が参加しました。

保育士らが創意工夫して作成した絵本や玩具等の展示の他、優秀作品の表彰やスポーツコメンテーター・奥野史子氏の講演が行われ、井戸知事は「三世代世帯は子どもが3人以上いる割合が高いというデータがある。家族に加え、地域や保育所など、豊かな人間関係の中で子どもたちが育っていくことが少子対策の観点からも重要」と訴えました。



(問) 県児童課 078-362-3199

(問) ひょうご仕事と生活センター078-381-5277

オレンジボンキャンペーン

11月は児童虐待防止推進月間です



11月の「児童虐待防止推進月間」にあわせ、民間団体・県・市町は、協働して児童虐待に取り組むオレンジボンキャンペーンを展開し、普及啓発を進めます。

11月6日(土)に開催されるヴィッセル神戸のホームゲームでは、観戦者に啓発チラシ、グッズを配付するほか、試合開始前に選手からの虐待防止メッセージを放映します。

また、11月27日(土)には県医師会館で児童虐待防止県民フォーラムを開催します。

(問) 県児童課 078-362-3182

子育て応援協定企業747社・28団体に

家庭と仕事の両立ができる職場環境整備に取り組む企業と県が協定を結ぶ「子育て応援協定」の締結式が26日午後、県公館で開催されました。



協定締結企業からは、インターンシップの受け入れやひょうご子育て応援の店への登録、地域の子ども会等のイベントへの参加・協力等、社内外での子育て支援の取組事例が発表されました。

(問) 県少子対策課 078-362-4184

「家族の日」写真コンクール 受賞作品が決定

家族のきずなを深めるきっかけづくりを進める「家族の日」運動の一つ、第3回「家族の日」写真コンクールの受賞作品が決定しました。

今回のテーマは「家族で過ごすひととき」で、118人353点の応募があり、知事賞には、家族三世代の午後のひとときを捉えた上里悦子さんの「和みの時」が選ばれました。

11月14日県公館で開催される「ひょうご家庭応援県民大会」では、表彰式と受賞作品の展示が行われます。



知事賞受賞作品『和みの時』

ひょうご家庭応援県民大会の参加者を募集しています

日時：平成22年11月14日(日) 13:00~15:30
 場所：兵庫県公館(神戸市中央区下山手通4-4-1)
 申込：県男女家庭室(Tel 078-362-3169)
http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac15/ac15_000000433.html

児童虐待防止 24時間ホットライン

相談窓口	電話	相談日時
中央こども家庭センター	078(921)9119	24時間
西宮こども家庭センター	0798(74)9119	
川西こども家庭センター	072(759)7799	
姫路こども家庭センター	072(294)9119	
豊岡こども家庭センター	0796(22)9119	
神戸市こども家庭センター	078(382)2525	8:45~17:30
(夜間休日相談)	078(382)1900	17:30~翌 8:45

「安心こども基金」が積み増し・延長されます

政府が、子どもや子育てを社会全体で支えるために創設した「安心こども基金」が、このたび1,000億円積み増しされ、事業実施期限も平成23年度末まで延長されることとなりました。

これを受け、県でも市町とともに基金を活用した保育所の整備や、地域の実情に応じた子育て支援の拡充など、子どもを安心して育てることのできる体制整備に取り組めます。

育てる男が、家族を変える、社会が動く。

国がイクメンプロジェクトを展開



現在、約3割の男性が「育児休業を取得したい」と希望している一方で、実際の取得率は1.72%にとどまっています。

法改正により「パパ・ママ育休プラス」制度の導入等をはじめとする新制度が2010年6月30日に施行され、男性が育児休業を取得しやすい環境づくりへと大きな一歩を踏み出しています。

「イクメンプロジェクト」はこのような制度見直しと合わせ、社会全体で、男性がもっと積極的に育児に関わることができるよう、厚生労働省が主体となってスタートしたプロジェクトです。

今後、イクメンサポーターの登録や体験談のWebでの公開、参画企業との連携によるイベントの実施などが予定されています。

11/12～11/25はDV防止週間です！

11月12日から25日（女性に対する暴力撤廃国際デー）までの2週間、「女性に対する暴力をなくす運動」が実施されます。

この運動は、国・県・関係団体との連携、協力の下、配偶者等からの暴力など、女性に対する暴力の問題に関する取組を一層強化するとともに、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることを目的とするものです。

配偶者等からの暴力で悩んでいる方、周囲で気づかれた方は下記機関へご相談ください。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

■配偶者暴力支援センター

相談窓口	電話	相談日時
県立女性家庭センター	078(732)7700	毎日(9:00～21:00)
神戸市女性のためのDV相談室	078(382)0037	火～日(9:00～17:00)
伊丹市DV相談	072(780)4327	月～金(9:00～17:30)

■DVを含む女性相談

相談窓口	電話	相談日時
県警本部ストーリーカー・DV相談	078(371)7830	毎日(24時間)
県立男女共同参画センター・イーブン 女性のためのやなみ相談	078(360)8551	月～土 (9:30～12:00・13:00～16:30)
法務局女性の人権ホットライン	0570(070)810	月～金(8:30～17:15)

(問) 県児童課 078-362-3198

若年者の正規雇用を支援する奨励金を国が創設

若年者等正規雇用化特別奨励金

年長フリーター等や内定を取り消された学生等を雇い入れた事業主に対し、奨励金が支給されます。

〈支給額〉

対象者を雇い入れた場合、中小企業 100万円 大企業 50万円

3年以内既卒者（新卒扱い）採用拡大奨励金

大学等を卒業後3年以内の既卒者を正規雇用した事業主に対し、奨励金が支給されます。

〈支給額〉

正規雇用での雇入れから6ヵ月経過後に 100万円

3年以内既卒者トライアル雇用奨励金

卒業後も就職活動中の新規学卒者を、まずは有期雇用(原則3ヶ月)で雇用し、その後、正規雇用した事業主に奨励金が支給されます。

〈支給額〉

有期雇用期間(原則3ヵ月):対象者1人につき月額 10万円

有期雇用終了後の正規雇用での雇入れ:対象者1人につき 50万円

<http://www.mhlw.go.jp/general/seido/josei/kyufukin/c-top.html>

こどもの健康週間大会

こどもの健康について関心を高めるため、10月23日に丹波の森公苑で開催し、約300名が参加しました。

会場では、兵庫県立大学の永井准教授が、最近の10代女性の痩せについて「成長期の誤ったダイエットは骨づくりや貧血に影響。バランスのとれた3度の食事と運動が基本」と講演したほか、小児科へのかかり方をわかりやすく説明した人形劇が行われました。

また、丹波市栄養士会による食育に関する取組の展示や、歯科医師等による健診や歯磨き指導などが行われ、親子で正しく食べることの大事さを体験しました。



(問) 県健康増進課 078-362-3250

季節の料理レシピを掲載した食育啓発冊子を作成

県では、楽しく和やかな家族団らんの場づくりをすすめ、食を通じた地域や家庭の子育てカアップを図るため、兵庫県いずみ会の協力を得て、行事食や郷土食の継承を啓発する冊子を作成しました。

今後は、同冊子を活用した食育活動を推進していきます。お問い合わせは下記まで。



(問) 県健康増進課 078-362-3249

参加者募集

コウトリ翔る但馬まるごと感動市 ザ・コンカツ in たじま

親子連れで楽しめる各種イベントのほか、新企画として婚活イベントを実施します。

◇日時：11/13(土)、14(日)(両日とも10:00~16:00)
(ザ・コンカツ in たじま は11/13 14:10~15:40)

◇場所：県立但馬ドーム(豊岡市日高町名色88-50)

◇内容：ステージイベント(ザ・コンカツ in たじま、絵本読み聞かせ大会ほか)、食と物産の出店、3ひろばや県政に関するPRコーナーなど

◇問合せ：但馬まるごと感動市実行委員会ステージイベント担当
(但馬県民局県民室地域企画課内)(Tel 0796-26-3616)

児童虐待防止県民フォーラム

児童虐待防止月間にあわせ、子どもを虐待から守る取組を考えます。

◇日時：11月27日(土) 14:00~16:30

◇場所：兵庫県医師会館2階大会議室
(神戸市中央区磯上通6-1-11)

◇内容：「児童虐待防止対策の現状と課題」についての基調講演や実務者によるパネルディスカッション

◇申込：県児童課(Tel 078-362-3182)

地域団体・NPO・企業等の活動紹介

米国商工会議所関西支部(ACCJ KANSAI)

ウォーカーソンチャリティーウォーク&ファンフェスティバル(10/16)

在日米国商工会議所関西支部主催の同チャリティーイベントが10月16日、神戸メリケンパークで開催されました。

県からは、「こどもの館」、「ひょうご仕事と生活センター」、「女性チャレンジひろば」等がブースを出展し、取組をPRした他、「NPOと行政の子育て支援会議」ブースでは、子どもたちがハロウィンにちなんだ、かぼちゃ釣りや帽子づくりを楽しみました。

(問) 米国商工会議所関西支部 06-6345-9880



NPO法人生涯学習サポート兵庫(姫路市)

NPO法人生涯学習サポート兵庫(山崎清治理事長)は、中・西播磨地域における「NPOと行政の子育て支援会議」の運営事業を受託し、地域のNPOの子育て支援活動やネットワーク化の支援に取り組んでいます。

11月には、子どもへのおもちゃの与え方やママ同士の心をつなぐテクニックなど、子育てや子育て支援の場ですぐ役立つ「子育て支援でゼツタイ得する!ネタ・ヒント見本市」を4回にわたって開催します。



(問) 生涯学習サポートひょうご 079-230-0661

◇ 頑張る企業 ◇

専門知識を活かして子どもたちの食育をサポート 株式会社小倉屋柳本(神戸市)

<http://www.maruyanagi.co.jp/index.html>
(代表者:柳本一郎 事業内容:食品製造業)

同社は、社内に「食育支援推進室」を設置し、子ども向け食育料理教室「キッチンチャレンジ」の開催や、地域の食育イベントへの参加など、食に関する専門知識を活かして、子どもたちの豊かな感性と味覚を育む活動を展開しています。

また、県と子育て応援協定を締結し、「NPOと行政の子育て支援会議」主催の「子育て支援メッセ」に食育ゲームのブースを出展するなど、行政やNPOと協働した子育て支援にも積極的に取り組んでいます。



※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部子ども局少子対策課)：
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうご子育て応援メールも好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報を月3~4回配信しています。
regist@magazine.hyogo-kosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

